

# 小中連携道徳通信 1号

切串小学校・江田島小学校・江田島中学校 発行者：川中 健太

先日、江田島小学校・切串小学校・江田島中学校にて、今年度の文科省委託「道徳教育改善・充実」総合対策事業（メニュー2）の趣旨と2学期からの取組について説明をさせていただきました。校区共通の研究課題「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中9年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」のもと、全員で授業の質を向上させていきましょう。2学期もお世話になります。よろしくお願いたします。

## 切串小学校

○小学校2年生の授業より（9月3日 火曜日）

内容項目：A 節度、節約

主題名：あんぜんにくらすために

教材名：「あぶないよ」

### コの字型の座席配置を取り入れた授業

2年生松岡先生の授業です。右の江田島小学校2年生と同じ内容でした。この授業においてもネームプレートを用いて全員参加型の授業をしていました。

切串小学校では道徳科の授業にかかわらず、全学年どの授業も『コの字型の座席』で授業を行っています。コの字型の座席の目的は、児童生徒同士が話しやすい雰囲気をつくることです。お互いの表情を感じながら授業ができることから、話し合いをもとに考えを深めさせることをねらう際に有効な座席配置です。

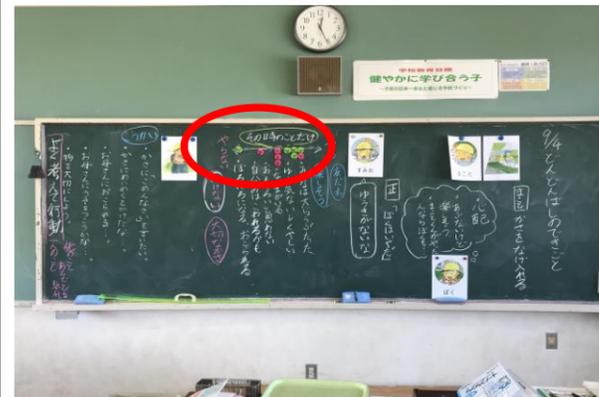


←コの字型の座席配置の様子です。

○小学校3年生の授業より

### 心情メーターを用いた授業

3年生天野先生の授業です。この授業では児童の心情を見える化するための工夫として、心情メーター（数直線上に自分の名前を書かれた磁石を置く）を用いて授業をされていました。友達から傘を川に投げて遊ぶことを誘われた際に、傘を「川に投げるか・投げない」の葛藤場面で最初に自分の意見を明確にすることで、友達の意見から考えを深めていくことができました。



←実際の板書です。心情メーターを用いて葛藤場面での「ぼく」の心情を「見える化」し、活発な話し合い活動につなげることができました。

## 江田島小学校

○小学校2年1組, 2年2組の授業より（9月4日 水曜日）

内容項目：A 節度、節約

主題名：あんぜんにくらすために

教材名：「あぶないよ」

### ネームプレートや役割演技を取り入れた授業

①2年生では、『ネームプレート』を用いた授業を行っています。杉井先生、西岡先生の授業において、主発問に対する考えを発表させる場面で用いました。意見を発表していない児童に指名していくことができる点で全員に自分の考えを持たせる手立てとしてとても有効でした。

②『役割演技』は、登場人物の気持ちを実感するための手立てとして有効です。知らないおじさんに話しかけられ、車に乗せられようとする場面では、頭では分かっているにもかかわらず実際に行動に移すことの難しさを実感している児童の姿が印象的でした。

③また、1組杉井先生の授業では道徳ノートに考えを書かせた後、友達と意見交流し合う『お散歩タイム』を設定されていました。



←②『役割演技』の様子です。

知らないおじさんに話しかけられ戸惑う場面です。こんな時どうすればいいのだろう？と考えていくことができました。安全に暮らすための合言葉、「いかのおすし（いかない、のらない、おおごえをだす、すぐににげる、しらせる）」について全員で確認できました。



どう答えたらいいのかな？

←③『お散歩タイム』の様子です。

相手の意見をしっかり聞いたうえで自分の意見もしっかり伝えます。展開部分で、このように話し合い活動を仕組むことで自分も相手も大切に児童生徒の育成を目指しています。



## 江田島中学校

○中学校3年生の授業より（6月19日 水曜日）

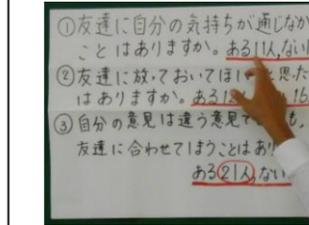
内容項目：B 友情、信頼

主題名：本当の友情

教材名：「違うんだよ、健司」

### アンケート結果を用いた授業

第2回小中合同研修会で大竹先生がされた授業です。導入では、アンケート結果の提示により、生徒が登場人物の気持ちを理解できるよう工夫しました。展開では、健司の行動は友達の行動として「あり」か「なし」かについて考え、班の生徒との意見交流により考えを深めることができました。



○中学校2年生の授業より（7月11日 木曜日）

内容項目：B 向上心、個性の伸長

主題名：自己を見つめる

教材名：「『自分』ってなんだろう」

### リフレーミングを用いた授業

第3回小中合同研修会で堂中先生がされた授業です。短所も含めた自分を認めるために、短所をリフレーミング（短所の捉え方を変える）する活動を仕組みました。研究協議で出た意見を紹介します。成果：クラスの雰囲気が良く、自由に意見が出せる土台ができている。学ぶ姿勢が定着している。堂中先生がありのままの姿をさらけ出しており、生徒も表情豊かに授業に臨んでいた。課題：まとめを交流させることで考えを深める時間を確保できれば良かった。T1・T2の掛け合いをもっと大胆に！

